

ずっと一緒に いるために

〜がん検診のすすめ〜

皆さんは「がん」と聞くとどのようなイメージを持つでしょうか。「死に至る怖い病気」や「抗がん剤治療の副作用が「つらそう」といったマイナスのイメージが大きいのではないのでしょうか。また、どこか他人事を感じてしまっている人も多いのではないかと思います。

がんは、なったからといってすぐに死に直結するわけではありません。がん検診などでがんを早期発見できれば、リスクはぐっと低くなります。

今回の特集では、今年度から一部無料となったがん検診をはじめ、宇和島市におけるがんの状況や取り組みを、市立宇和島病院の先生や家族を亡くした遺族の話を変えながら紹介します。

愛する家族とずっと一緒に過ごせるように、今回の特集が「がん」を自分事として考えるきっかけになれば幸いです。



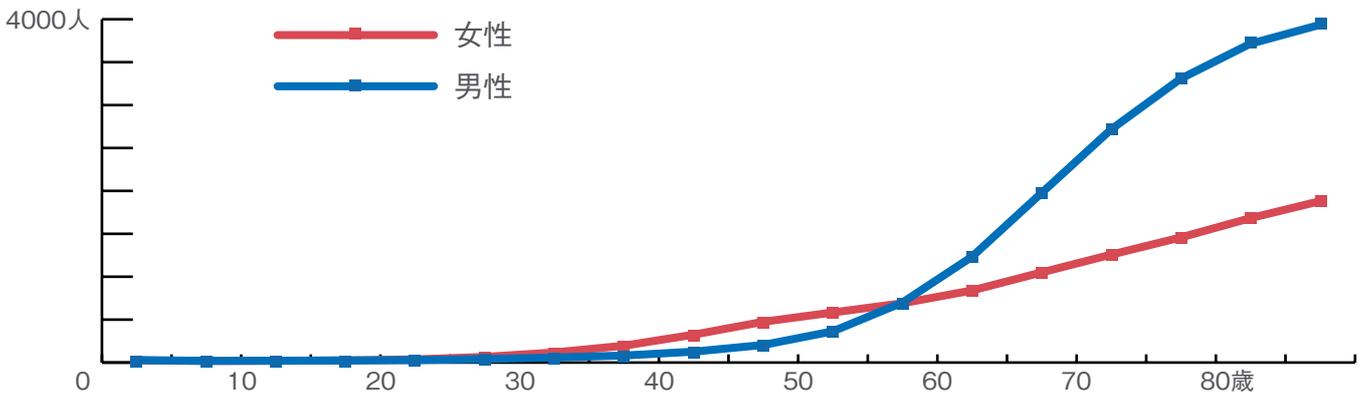
宇和島市の主な死因1位は「がん」です。

日本人の3人に1人が「がん」で亡くなっています。

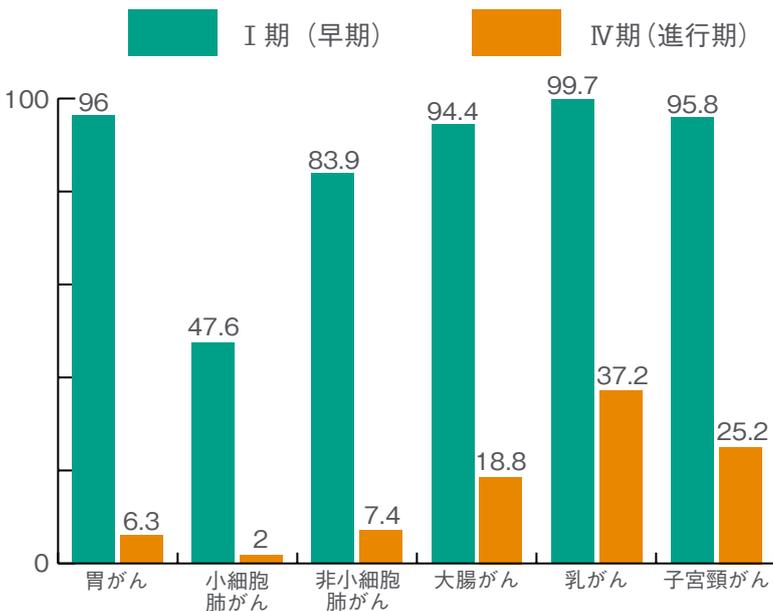
日本人の2人に1人は「がん」になると言われています。全国の年代別のがん罹患率を見ると、特に男性では50代半ば以降からがんになる人が急増しています。また、日本人の3人に1人はがんで亡くなると言われています。令和3年の宇和島市の主な死因の1位はがんとなっていて、決して他人事ではありません。

「見つかる」前に「見つける」
早期発見が命をつなぐ

がんは怖い病気ですが、早く発見し治療することで約9割が治ると言われています。がんのステージ別5年相対生存率を見ると、早期に見つかった場合は約9割の人が5年後も生存していますが、進行してから見つかった場合は生存率がとても低くなっています。また、治療にかかる経済的な問題や精神的な負担も大きくなります。がんで命を失わないためには、早期に見つけることが大切です。症状のないうちに見つけて治療するために、市では毎年「がん検診」を実施しています。

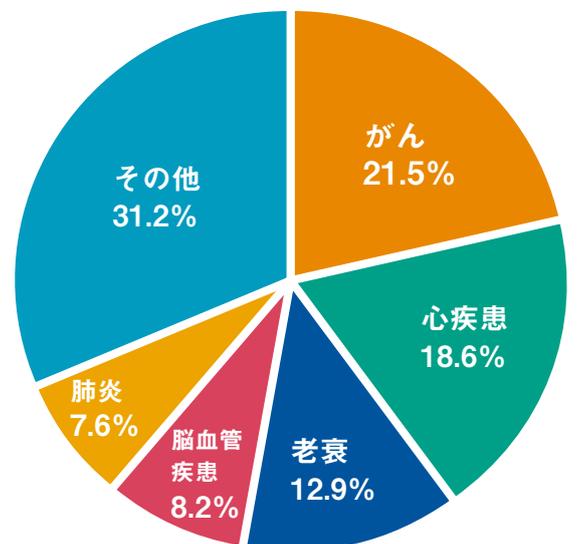


H30 全国 男女の年代別がん罹患率 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録)



がんのステージ別5年相対生存率 (%)

国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
がん診療連携拠点病院等における5年生存率 (2012-2013年診断例)



R3 宇和島市 主な死因割合 (人口動態統計より)

がん検診のすすめ

市立宇和島病院 乳腺外科 岡田 憲二

「乳がん検診は受けないほうがいい」なんていう話を聞いたことがありますか。先日ネットニュースで見つてびっくり仰天しましたが、X線による放射線被曝のリスクが大きいというのがその理由のようです。そんなの微々たるものですが、他にも色々と懐疑的な意見もあつたりしました。

一つは「高濃度乳房」の問題です。若い人に多いのですが乳腺濃度の濃い人はマンモグラフィで病変の発見が難しいということがあります。ですから40歳以下の若い人にはマンモグラフィ検診はすすめられていません。30歳代で健診を希望される方にはエコー健診が宇和島でも受ける事ができます。もう一つは「偽陽性」の問題です。検診を受診されて精密検査が必要と言われるとショックでしょうが、大丈夫、実際にがんが見つかることは10人に1人もいま



せん。ただあまりこういった「偽陽性」が多いと検診を受ける利益より不利益が増えて検診の意義が問われます。若い人におすすめしないのはこの理由です。がん検診の目的はがん死亡率を低下させることです。欧米ではずいぶん以前からがんの死亡率は下がり続けていますが、日本では下がっていないことのがん検診の意義が問われているのかも知れません。しかしながら日本における乳がん検診の受診率は非常に低く40%程度です。一方で欧米の乳がん検診の受

がんを防ぐための新12か条

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙を避ける
3. お酒はほどほどに
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. 定期的ながん検診を
11. 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ることから

国立がん研究センターがん予防・検診研究センター

診率は非常に高く、乳がんを含めたがん検診の受診率は80%以上です。日本で死亡率が下がらないのは単純に受診率の低さに関係すると思われれます。乳がんは早期に見できると90%が治るがんで、早期発見の半分が検診で発見されており、コロナで検診受診がさらに低下することのないよう、検診をおすすめします。



「もっと早く検査を受けていれば…」

がんによって家族を亡くした遺族に
体験談を語ってもらいました。

がんと闘う準備

自営業だった夫は、一度も検診を受けたことがありませんでした。医療従事者の娘が病気のリスクが上がる年齢だからそろそろ受けた方が…と、何度勧めても聞く耳を持ちません。その理由は「仕事事が忙しい」「体調も悪くない」「面倒」。

そんな夫が57歳の夏、突然のひどい腹痛と高熱で仕方なく病院を受診。検査の結果は「肝臓、肺転移のあるステージ4の大腸がん」。不調の原因は、腸壁が破れ、がん細胞が腹腔内に散らばってしまった腹膜播種でした。

私たち家族から見た夫は、腹痛を起こす前日まで本当に健康そのものでした。働き者で若々しく食欲も旺盛、活動的で体力もある。そんな夫が「がん!?!」しかも「ステージ4!?!」信じられない気持ちでした。そして、その日を境に私

たち家族の日常は一変しました。

大腸がんは比較的ゆっくり進行するがんで、手術で取り切れたならば治癒率が高い。しかし夫の場合は、何年もかけて広がったがんが腹膜播種を起こし腹腔内に散らばってしまったため、もう手術で取り切る事は不可能だったので。もっと早く検査を受けていれば…たとえがんであっても、もっと早くわかっていたならば、夫は今も元気に私のそばで笑ってくれていたかもしれない。

検診を受ける事は確かに面倒だし、異常が見つかる事は怖い。けれども、もしがんという敵が現れたとしても、出来るだけ早い時期に敵を知り、闘う準備を整えてほしい。それが敵に打ち勝つ事だと夫が逝ってしまった今、私は心からそう思います。



今年度から一部のがん検診が無料になりました

宇和島市のがん検診は「個別検診」と「集団検診」の2種類

本市のがん検診には、医療機関で受けられる個別検診と検診車で受けられる集団検診があります。個別検診で受けられるがん検診は胃がんと子宮頸がんの2種類、集団検診で受けられるがん検診は6種類で、それぞれの対象年齢と料金は下の表のとおりです。

最悪の事態を避けるために、この機会にがん検診を受けましょう。

本市のがん検診の受診率は、これまで5～10%程度ととても低い数字でした。そこで今年度から、より多くの人に受診してもらえるように、肺がんX線、大腸がん、胃がんの胃透視、子宮頸がん、乳がんのマンモグラフィの自己負担金が無料になりました。がん検診は「面倒」「時間がない」「怖い」などの理由で受けない人も多くいると思いますが、深刻な状態でがんが発見されるのが一番恐ろしいことです。大切な命を守るために、365日のうちの1日だけでも検診の時間を作ってみませんか。

R 5年度 宇和島市個別検診 一覧表

	胃がん		子宮頸がん
	透視	カメラ	
20～39歳	—	—	無料
40歳	無料	無料	無料
41～74歳	無料	2,000円	無料
75歳～	無料	2,000円	無料

※6～2月の期間、指定医療機関で受診可能です（詳細はカレンダー裏面参照）。

申込方法（集団検診）

コールセンターから予約
(平日午前9時～午後5時)

☎0120-489-355

Web予約（24時間対応）



R 5年度 宇和島市集団検診 一覧表

	前立腺がん	肺がん		大腸がん	胃がん透視	子宮がん		乳がん	
		CT	CR			頸がん	頸がん・経膈超音波セット	マンモグラフィ	エコー
20～29歳	—	—	—	—	—	無料	—	—	—
30～39歳	—	—	—	—	—	無料	—	—	1,500円
40歳	無料	3,000円	無料	無料	無料	無料	—	無料	—
41～49歳	700円	3,000円	無料	無料	無料	無料	—	無料	—
50～69歳	700円	3,000円	無料	無料	無料	無料	2,420円	無料	—
70～74歳	700円	3,000円	無料	無料	無料	無料	—	無料	—
75歳～	700円	3,000円	無料	無料	無料	無料	—	無料	—

※日程表は、広報5月号折り込みに掲載しています。



内：内容 対：対象 申：申込 問：問合せ先

がん患者を対象とした取り組み

■がん患者ウィッグおよび胸部補整具購入費助成

がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化に対するケアを通じ、がん患者さんの療養生活の質の向上と社会参加を支援するため、がん治療により脱毛した場合のウィッグや、乳房切除した場合の補整下着などの購入費を助成します。

内 令和5年4月1日以降に購入したウィッグまたは胸部補整具で、購入翌日から1年以内に申請した購入費用の1/2（上限3万円）

対 次のすべてに該当する人

- ▶ 申請日において市内に住所を有する
- ▶ 医師にがんと診断され現在治療中または過去に治療を受けた
- ▶ がん治療による脱毛または乳房切除に伴いウィッグや胸部補整具が必要
- ▶ 過去に同様の助成を受けていない

申 申請書兼請求書などを提出



ID：0086224

■若年がん患者在宅療養支援

若年がん患者さんが住み慣れた自宅などで過ごせるよう、在宅療養に必要な費用の一部を助成します。

内 訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、特定福祉用具にかかる費用の9割（上限6万円）

対 医師が判断した20歳～40歳未満 **申** 申請書と意見書を提出



ID：0053753

問 保険健康課成人保健係 ☎49-7021